

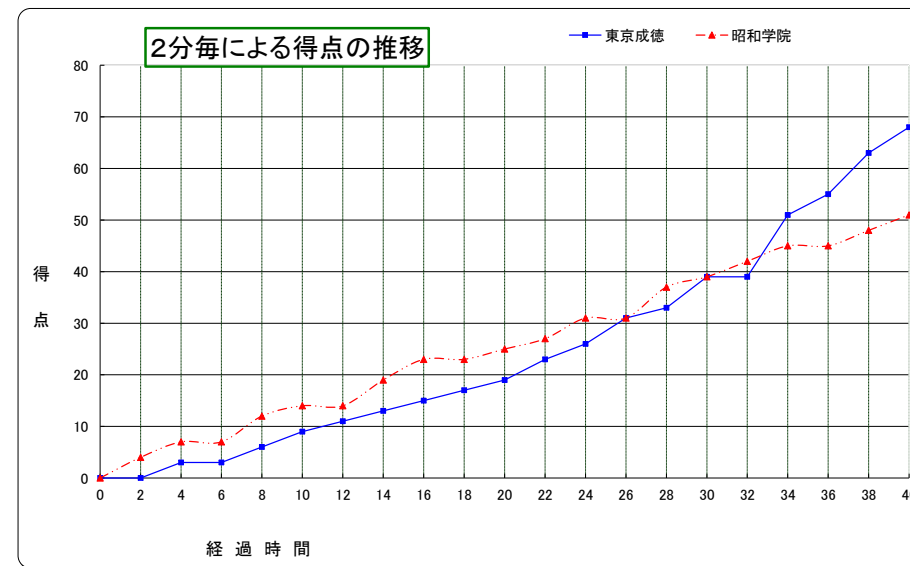
# 平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)  
毎日興業アリーナ久喜  
女子2回戦 D5

チームA	68	{	9	1st	14	}	51	10	2nd	11
東京成徳 (東京)			20	3rd	14			29	4th	12

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	木村 亜美	28	4	13	5	10	6	7	0	1	3	4	8	1	4
5	小笠原彩香	7	0	1	2	11	3	4	3	1	4	4	3	0	5
6	平山 瞳海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	大原 咲織	16	0	0	7	23	2	3	1	6	11	0	0	2	5
8	佐藤 理映	0													
9	三好 青花	8	2	5	0	6	2	4	2	1	4	0	1	1	2
10	林 美花	9	0	0	3	7	3	5	3	5	4	4	0	3	0
11	佐藤 希	0													
12	池田 柚子	0													
13	田中 瑠恵	0													
14	中原 亜美	0													
15	樋口 真生	0													
16	金田 里桜	0													
17	遠藤 茜	0													
18		0													
コーチ	遠 香 周 平								9	14	26	12	12	7	17
		68	6	19	17	57	16	23		計	40				
		確率	31.6%		29.8%		69.6%								

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	佐古 愛	5	1	7	1	8	0	0	4	2	3	1	2	0	3
5	大塩菜々子	10	1	5	3	15	1	2	2	1	5	3	1	0	0
6	平野 尚	0													
7	宗形 真李	4	0	1	2	5	0	2	5	1	4	1	2	0	2
8	山下 詩織	6	0	0	3	11	0	0	5	5	7	1	3	4	1
9	宮城 朋佳	0													
10	大竹優香子	7	0	2	3	8	1	1	1	2	2	3	0	6	3
11	星 杏璃	14	1	3	5	7	1	2	5	1	7	2	2	3	6
12	関 千尋	0													
13	松本 薫	5	1	3	1	4	0	0	0	1	0	1	1	0	1
14	佐々木清夏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	山下 莉世	0													
16	池見 碧衣	0													
17	黒澤 楓	0													
18	高橋 杏夢	0													
コーチ	鈴木 親 光								22	13	28	12	11	13	16
		51	4	21	18	58	3	7		計	41				
		確率	19.0%		31.0%		42.9%								



**戦評**

第1P 両者ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。昭和学院は#11のドライブで先制し、#4や#5が積極的に外角からの1対1を中心にオフェンスを展開する。一方、東京成徳は#4を中心に#7のペイントエリアからせめていく。お互い粘り強いディフェンスからシュートブロックや厳しい状態のシュートを打たせて、ディフェンスリバウンドをしっかりと取り、相手に余計な得点を渡さない。9対14で昭和学院のリードで終了。

第2P 一進一退の攻防が続く中、硬さの見られる東京成徳に対し、昭和学院は#11が2本連続してバスケットから速攻得点。さらに#8のゴール下にボールを集めて、得点しようとするが、リングに嫌われ、波に乗れない。このタイミングを逃さなかった東京成徳の#4がドリブルジャンプシュートやバスケットから速攻で得点する。19対25で昭和学院リードで前半が終了する。

第3P 昭和学院は#7からのアシストパスにより#8#13が得点をしていく。東京成徳は#7がゴール下での力強いシュートで得点したり、#5のオフェンスリバウンドから#4の3pで少しずつリズムを作っていく。お互いゴール下での争いが激しくなる中、東京成徳#10はオフェンスリバウンドからバスケットカウントを奪い、昭和学院の長身#8から3回目のファウルをもらい、一旦ファウルアウトさせる。その間にゴール下を攻めたいが、昭和学院も#10がゴール下の攻防を踏ん張る。お互い流れを譲らない中だが、東京成徳の#4の3pが決まり、31対31の同点になり、昭和学院がタイムアウトをとる。タイムアウト後、昭和学院は#8を戻し、#10ゴール下や#5のドライブインで得点を重ねるが、東京成徳も#4と#7の活躍により39対39の同点で第3P終了する。

第4P 序盤流れを掴もうとしたのは昭和学院。#11のシュートカットから速攻などディフェンスからリズムを作り直す。しかし、東京成徳も#4#7がゴール下のバスケットカウントをもらい、4対4と、このゲームで初のリードになる。昭和学院はタイムアウトをとり、ディフェンスを2-3ゾーンに変えるが、東京成徳の#9が3pを2本連続決め、リズムに乗る。残り4分10点差になり、追いつきたい昭和学院は焦りからかファウルが多くなり、相手にフリースローを与えてしまう。東京成徳はフリースローをしっかりと決め、着実に点差を離していく。昭和学院は最後までドライブや3pを狙っていたが、リングに嫌われ、68対51で東京成徳が勝利した。

記入者 津留崎治子

Ref	北島寛臣	1st U	桑島汐織	2nd U	
-----	------	-------	------	-------	--